

情報バリアフリーフォーラム in にいがた

地域におけるIT活用検討部会では昨年度「ウェブアクセシビリティ」をテーマに取り上げました。「ウェブアクセシビリティ」とは、高齢者や障害者など心身の機能に制約のある人でもホームページで提供されている情報に問題なくアクセスし利用できることを意味しています。今回は、昨年度の取組を発展させ、「ITが高齢者や障害者にどのような可能性をもたらすのか（就業支援や社会参加）、そのためには一人ひとりがどう行動すればいいのか」といった点にスポットを当てます。誰もが分け隔てなく参加できるIT社会の実現を目指して、みんなで考えましょう！

日時：平成15年6月5日（木）10:30～16:00

場所：新潟ユニゾンプラザ 多目的ホール（新潟市上所 2-2-2）

定員：350名（参加無料）《定員になり次第締め切らせていただきます》

ユニゾンプラザ1階イベント広場でIT福祉機器の展示を行います（裏面参照）。

（内容）

第1部 基調講演「ITが拓くユニバーサル社会」（10:35～11:45）

講師：竹中 ナミ 氏 社会福祉法人プロップ・ステーション理事長

<http://www.prop.or.jp/>

情報通信審議会（総務省）委員、

岐阜県IT戦略顧問ほか委員多数

朝日新聞連載オピニオン「時流自論」連載中。

著書に「ラッキー・ウーマン」（飛鳥新社）等。



第2部 出展企業から「出展内容プレゼンテーション」（11:45～12:00）

第3部 特別講演「電子自治体の推進と高齢者・障害者

—ユビキタス・ネットワーク社会をめざして—」（13:30～14:20）

とぎや
講師： 碓谷 明正 氏 静岡県企画部総合計画室長

<http://www.pref.shizuoka.jp/>

ウェブアクセシビリティにとどまらず、障害者IT講習等より広範な取組を実施。

第4部 パネルディスカッション（14:30～16:00）

「IT社会のリデザイン -ユニバーサルデザインの視点から-」

コーディネータ：内田 斉 氏 アライド・ブレインズ(株)代表取締役

<http://www.a-brain.com/>

総務省のウェブアクセシビリティ実証実験事務局。

パネリスト： 竹中 ナミ 氏

碓谷 明正 氏

望月 優 氏

(株)アメディア 代表取締役

<http://www.amedia.co.jp/>

視覚障害者用システムの開発・販売を行う会社の代表であり、

ご本人も視覚障害者。

多田 憲孝 氏 新潟工業短期大学生産システム工学科助教授

地域におけるIT活用検討部会委員。

市町村ウェブアクセシビリティ調査、実証実験を実施。

高齢者・障害者を支えるIT機器の展示

10:30～16:00（1階 イベント広場）

〔出展企業（五十音順）〕

(有)アイティーエス

指先案内：高齢者用の簡単操作タッチパネルパソコンセット

(株)アットイーズ <http://www.atease.ne.jp/>

ピンディスプレイ、Xp Reader（予定）

(株)アメディア <http://www.amedia.co.jp/>

ヨメール：活字音訳、拡大表示ソフト

よみ姫：印刷物読み上げソフト

ろくてん満点：点字学習ソフト

スパルタイプ：キータイプトレーニングソフト

アライド・ブレインズ(株) <http://www.a-brain.com/>

Pete：単語予測機能を備えた、身体障害者向けの日本語入力用ソフトウェア

3D音声ブラウザ（参考展示）

(株)NTT ドコモ新潟支店 <http://www.niigata.nttdocomo.co.jp/>

検討中

日本IBM(株) <http://www.jp.ibm.com/>

(株)丸新システムズ <http://www.marushin-systems.co.jp/>

らくらくウェブ散策：特に高齢者のウェブアクセシビリティを支援するソフトウェア

(有)マイクロウイング

意思伝達装置及び障害者入力支援ソフトに対応できるセンサー・スイッチ機器の展示（予定）

注）出展内容は5月28日現在

会場案内図

新潟ユニゾンプラザ

・住所 新潟市上所 2-2-2

・電話 025-281-5511

・交通案内

<バス> 新潟駅万代口より水島町経由県庁行きバスで約10分。「上所島」バス下車。

<車> 駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

